

1. 管理運営に関する基本事項

(1) 公の施設の管理に対する基本的考え方

●東京都とともに、さらに魅力ある公園づくりを推進

指定管理者としての役割を踏まえ、東京都が掲げるパークマネジメントマスタープラン『世界一の都市・東京』の公園を創るパークマネジメントを実践するとともに、東京都と一体となって、世界に誇る公園づくりに挑戦していきます。

基本理念1. 東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、「都市の魅力を高める」公園づくり

基本理念2. 首都直下地震にそなえる、「高度防災都市を支える」公園づくり

基本理念3. 地球環境へ配慮した、「生命を育む環境を次世代に継承する」公園づくり

基本理念4. 少子高齢化社会や多様なニーズに対応する、「豊かな生活の核となる」公園づくり

(2) 都立公園の管理における基本理念

●東京臨海広域防災公園の管理運営における基本理念

公の施設の管理における基本理念や、「東京臨海広域防災公園マネジメントプラン」に掲げられた、今後の10年間を見据えた公園づくりの目標や方針等を踏まえ、都立東京臨海広域防災公園（以下、「本公園」という。）の管理運営を行います。

1. 基幹的広域防災拠点としての機能を発揮する安全・安心の対応と体制

2. 日本を代表する防災公園・国際的な観光拠点としてサービス充実

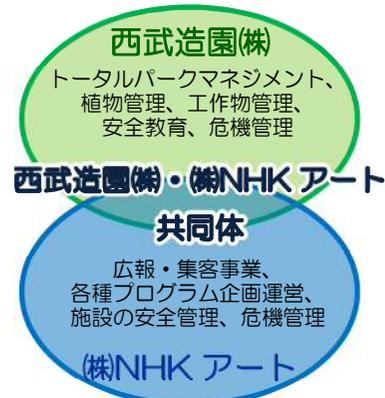
3. 民間ネットワークを活かした、多様な連携による魅力向上プログラム充実

4. 都民の健康増進に寄与するスポーツプログラムの充実

●共同体のノウハウ・実績の活用と役割分担

私たちは、本公園の業務に必要な都市公園等の管理運営に関する豊富な経験・実績をもち、必要な知識やネットワークをもつ2社の共同体です。公園の基本理念を実現するために、2社が持つ専門性や特性を相乗的に発揮して民間の力の活用を図るとともに、コンソーシアムのメリットが最大限発揮できるよう、実績豊富な代表企業がトータルコーディネートします。

また、多様なネットワークを活かし、協力団体や関係機関・近隣施設との連携や、地域や市民・ボランティアとの協働を促進します。



各社の強みを相乗的に発揮する
コンソーシアム

2. 人員配置計画等

(1) 人員配置計画

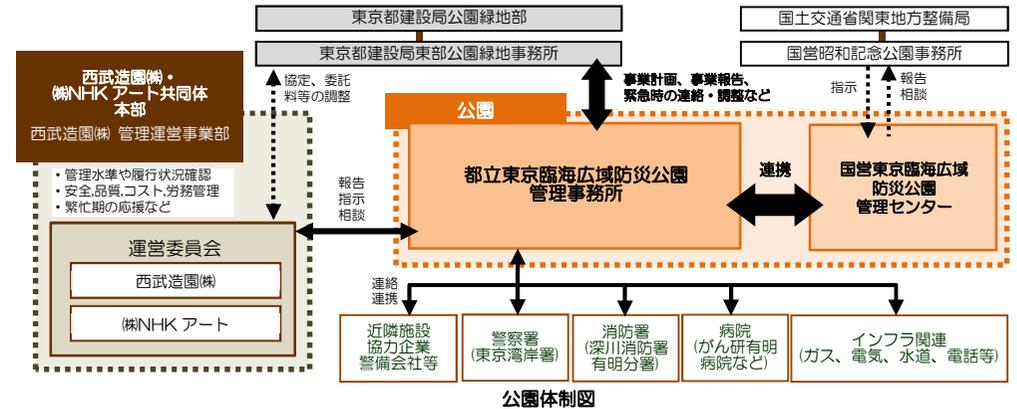
都立公園スタッフとして業務責任者（都立公園所長）を1名、業務担当者（都立公園副所長）を1名、常勤配置します。

また、国営公園の配置スタッフとの密な連携体制を整え、円滑な業務を実施します。

(2) 組織体制・指揮命令系統と役割分担

本公園を円滑に管理するため、以下の方針に基づき、指揮命令系統・連絡調整機能を発揮する体制を確立します。緊急時には、東京都をはじめ、地元自治体や消防署・警察署等と円滑な連絡・連携を進め、適切な対応を行います。

- 国営公園と一体となった効率的・効果的な指揮命令体制の構築
- 日常の報告・連絡・相談による、東京都や国事務所、近隣の一時滞在施設、消防・警察などとの連携体制の確立
- 国営公園と連携し、公園スタッフ全員を対象とした定期的な訓練の実施
- 発災時・緊急時における共同体本部からの人員・資材支援



公園体制図

- ① 平常時：共同体を統括する「本部」を代表企業である西武造園(株)内に設置し、公園体制図のような役割分担で事業を執行します。
- ② 夜間：夜間や休園日における組織体制、役割分担については、原則として平常時と同様の体制を整えます。
- ③ 発災時：大規模地震や災害発生時には、速やかに緊急時体制を整え、都や関係機関、国営公園等と連絡調整しながら迅速に対応します。また、代表企業や協力団体などのネットワークにより、首都圏一円から重機・人材などを投入することで、公園内の安全・復旧活動を加速させる協力・支援体制を確立します。

(3) 人材の確保と職員の技術・能力向上への取組

公園の管理運営においては、さまざまな利用者ニーズを反映し、時代の変化に対応した公園管理を柔軟に実施できる人材を確保し、配置します。

また、共同体本部の有資格者による支援、定期的な研修（内部・外部研修、講義・ワークショップ等）や視察、OJT等によって、全スタッフに徹底した教育を行い、公園管理運営に必要な知識・技術の向上を図ります。

3. 管理運営計画

(1) 都立公園の管理運営についての方針と具体的な取組

本公園は、災害時に広域的な災害救援活動の拠点となる「基幹的広域防災拠点」として設置された、日本を代表する防災公園です。本公園建設の設置目的やマネジメントプランを踏まえ、多様な防災体験学習プログラムの実施や広報・PR活動を拡充し、都民の防災力向上に寄与します。

1. 利用者ニーズを踏まえた管理運営
2. 「おもてなし」サービスの水準向上
3. 防災学習&利用促進プログラムの充実
4. 多様な自主事業サービスでさらなる魅力向上
5. 東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツプログラムの充実
6. 安心・安全・快適な公園づくり
7. 基幹的広域防災拠点としての機能を発揮

(2) 利用者要望の把握方法と管理業務への反映方法

よりよい公園づくりのために、利用者等から広く意見を収集し、PDCA マネジメントサイクルによって利用者ニーズを業務に反映させることで、利用者満足度や管理品質の向上につなげます。また、日常の利用状況の観察により公園の理念やルールを伝えることで、利用者の理解を促進させる取り組みを実施します。

(3) 質の高いサービスを提供するための具体的な取組

●サービス水準向上の取り組み

- ① 「おもてなし」サービスの提供
- ② 観光客、インバウンド向けサービスの強化

●利用促進の取り組み

- ① 都民の防災力向上プログラムの実施
- ② 園地の利用促進プログラムの実施
- ③ 地域とともに歩む公園づくり（地域連携・協働の促進）
- ④ 花による魅力ある空間「利用者目線の公園づくり」
- ⑤ 多様な広報展開による利用促進・認知度アップ

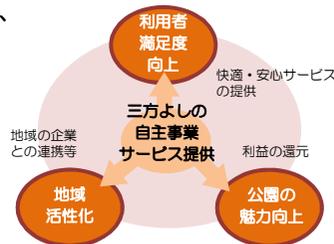


ぼうさいモーターショー

(4) 公園の魅力向上と利用促進を図るための自主事業等の提案

社会情勢や利用者ニーズの変化により柔軟に対応するため、私たちの実績・ノウハウやネットワークを活かした多様な自主事業サービスを実施します。自販機収入等の収益を公園に還元することによって、さらなる公園の魅力向上と利用促進を図ります。

- ① 利用促進につなげるサービス向上の取り組み
- ② 公園や防災について知っていただく「都民の防災力向上プロジェクト」



(5) オリンピック・パラリンピックを契機とした公園の魅力向上の取組

- ① 多様な方にとって使いやすい公園サービスの充実
- ② スポーツプログラムの開催による健康増進
- ③ 公園を全国・海外の方に広く知っていただくための情報発信

4. 施設維持管理計画

(1) 適切な維持管理を行うための取組

私たちは、これまでも公園利用者がいつでも安心・安全に気持ちよく利用できる施設維持管理を実施してきました。今後もこの経験・ノウハウを活かすとともに、本公園の特性・立地・環境等を踏まえた、快適に利用できる公園づくりに努めます。また、省エネルギー化や廃棄物減量等、環境負荷の低減にも努め、隣接する国営公園と連携しながら、効率的・効果的な業務に取り組みます。



花の彩りで「おもてなし」する西口花壇

- ① 安全で安心して利用できる施設の提供
- ② 利用者の行動・視点にあわせた「利用者目線の公園づくり」
- ③ 地域と連携した「憩いの空間」「緑のにぎわい拠点づくり」
- ④ 生物多様性や環境負荷に配慮した植物管理

(2) 事故、自然災害や感染症等を未然に防ぐための安全対策、発生時の対応

こまめな安全点検・日常巡回や、定期的な防災訓練の実施等によって安全対策を徹底し、事故や自然災害・感染症などの未然防止に取り組めます。事故・災害発生時には、国営公園や関係機関と密に連携し、速やかな安全確保、被害の最小化に向けて全力で対応します。また、日常から東京都・国営公園・警察・消防等との連携体制を強化し、誰もが安全に安心してすごせる公園づくりを行います。



応急救護訓練等定期的な訓練の実施

- ① 安全対策マニュアルに基づく緊急時対応・体制の徹底
- ② 事件・事故等の未然防止、対応
- ③ 自然災害等による被害の未然防止、対応
- ④ 感染症等による被害の未然防止、対応

(3) 要望やオリンピック・パラリンピックに向けた施設補修、施設改良への取組

施設補修や施設改良要望について、広く都民の意見を収集し、優先順位を判断し、適切かつ迅速な対応を行います。また、都民や東京都からの要望のほか、管理運営上必要な施設補修や施設改良、東京オリンピック・パラリンピックに向けた事業の前倒し等、利用者の安全確保を第一に、これらを総合的に判断しながら対応します。

5. 基幹的広域防災拠点としての取組

本公園は、発災時に国及び地方公共団体が協力して応急対策活動を行う「東京湾臨海部基幹的広域防災拠点」として、首都圏広域防災のヘッドクォーターの役割を果たす広域公園です。

私たちは、発災時に基幹的広域防災拠点への機能転換が円滑に実施されるよう、平常時から備えを行っておくとともに、国営公園と連携して防災に関する体験・学習、訓練などを実施し、都民の防災意識の啓発を図ります。

都立公園部分の広場は、消防訓練や救助訓練など各種防災訓練の場として活用していただけるよう、公園の広報・PRなども実施します。

- ① 共同体の実績とマニュアルによる、迅速かつ適正な対応の徹底
- ② 定期的な訓練の実施
- ③ 「基幹的広域防災拠点」の機能・役割を都民にPR
- ④ 国営公園との密接な連携の実施
- ⑤ 緑の拠点として、潤いある憩いの場の提供
- ⑥ 共同体のネットワークを活用した支援・連携体制の構築



国営公園との共催による大規模イベント「東日本復興支援熱気球イベント」